

高校生のための「超」教養講座 Q & A

講座No. 10 「異文化コミュニケーション論」を視聴して以下の問いに答えなさい。

Q1 「彼を知り我を知れば百戦危うからず」と言った中国の思想家は誰？

()

Q2 異なる文化の人とコミュニケーションする際に、コミュニケーションの円滑化・相互理解を妨げる要素のことを何と言う？

()

Q3 異文化に適応しようとする過程で、高ぶった気分になったり、逆に気分が落ち込んだりする様子を表わしたものは何？

()

Q4 自分が異文化の人に受け入れられなかったり、異文化の習慣を受け入れがたく思っ、気分が沈んだりすることを何と言う？

()

Q5 ある集団の構成員に対して単純化されたイメージや信じられていることを何と言う？

()

Q6 過去の反応や得られた経験をもとに、新しく入ってくる情報の枠組み（カテゴリー）を予想したり期待する機能のことを何と言う？

()

Q7 「察する」など、コミュニケーションを取り巻くTPOからより多くの情報を得ようとする文化のことを「何が高い」と言う？

()

Q8 非言語コミュニケーションにはどのようなものがあるか。4つ挙げなさい。

() ()

() ()

高校生のための「超」教養講座 Q & A

講座No. 10 「異文化コミュニケーション論」Q&Aの正解。

- A1 孫子
- A2 ノイズ
- A3 W曲線 または異文化適応のW曲線
(高ぶったり、落ち込んだり、また高ぶったり、落ち込んだりと言う状態が、
ちょうど英語のアルファベットの「W」の文字のようであることから)
- A4 カルチャーショック
- A5 ステレオタイプ
- A6 スキーマ
- A7 コンテキスト(が高い)
あるいは、高コンテキスト、High コンテキストと呼ぶ
- A8 表情、アイコンタクト、ジェスチャー、接触(タッチ)、沈黙など